

表札や看板を 3D パースで表現する方法

文書管理番号：1244-01

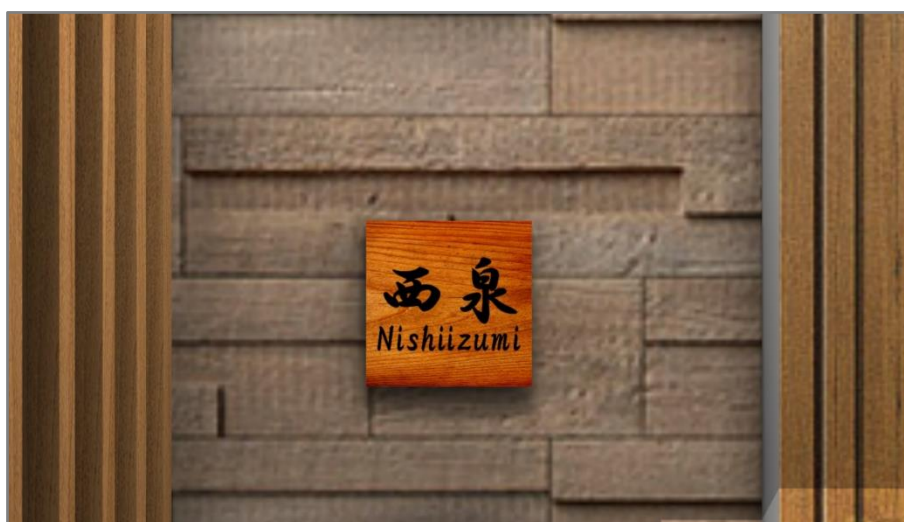
Q. 質問

表札や看板を 3D パースで表現したい。

A. 回答

表札や看板を 3D パースで表現する場合は、表札や看板の画像を用意し、その画像を A's（エース）の 3D 色定義ツールで部材色として登録して使用します。

ここでは、表札の画像を部材色として登録し、下図のように 3D パースで表現する方法を説明します。



壁に文字（サインロゴ）のみを貼り付ける場合は、こちらをご覧ください。

黒色の文字の場合

[\[1122\] 文字（サインロゴ）を壁に貼り付ける方法](#)

白や薄い色など、黒色以外の文字の場合

[\[1162\] 様々な色の文字（サインロゴ）を壁に貼り付ける方法](#)

操作手順

● 画像データの準備

表札の画像データ（木目の背景に文字を配置した画像）を準備します。

画像は、画像編集ソフトを使用して、BMP、JPG、TIFF、PNG いずれかの形式で用意してください。



(デザイナー)の



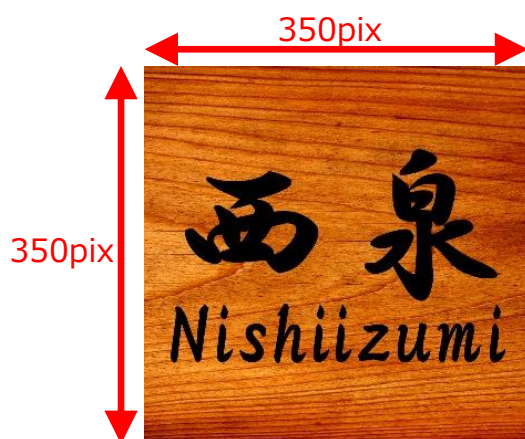
(The Retouch)または



(The Presen)でも作成できます。

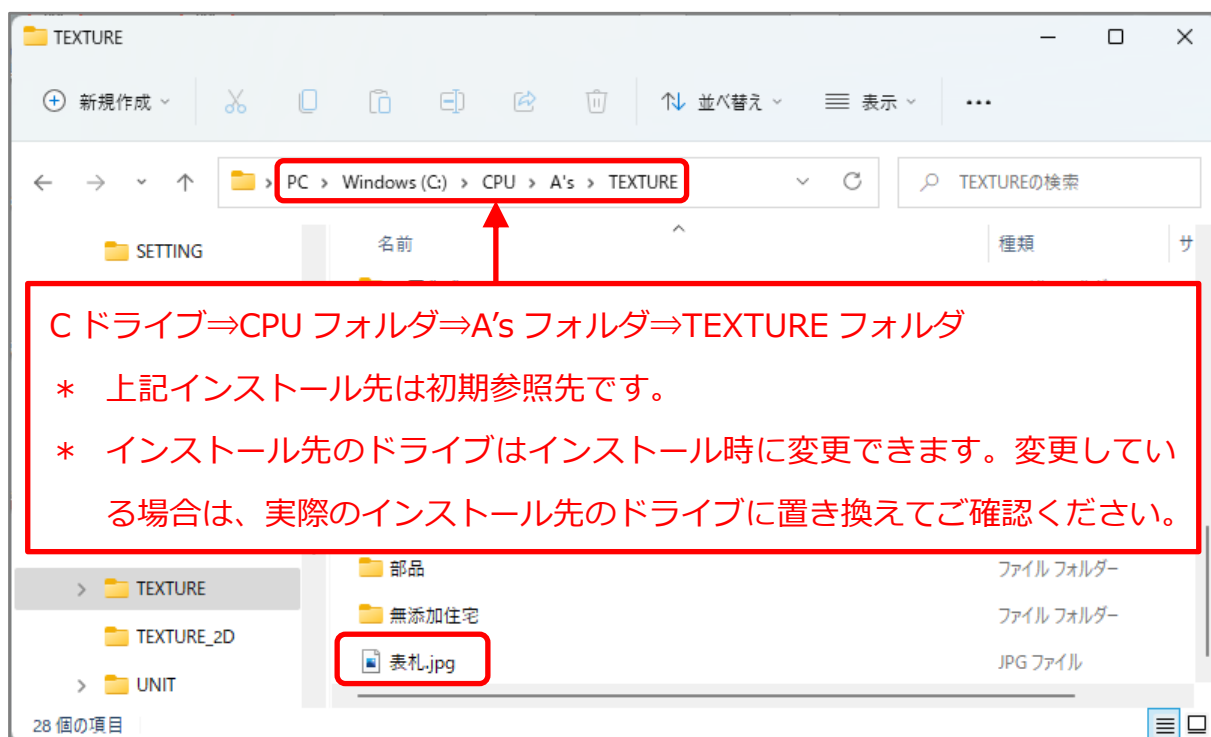
原寸でなくてもかまいませんが、表札の大きさと縦横比が同じ画像を準備してください。

ここでは、玄関に 150mm 角の大きさの表札を配置するため、以下のような縦横比が 1 : 1 の jpg 形式の画像を準備します。




準備した画像データは、インストール先の「A's」フォルダ内の「TEXTURE」フォルダに保存してください。

ここでは「表札」という名前で保存します。




● 画像データの登録


① デスクトップの  (A's (エース)) をダブルクリック

＊ 「A's (エース)」グループ画面が表示されます。

②  (各種ツール) をダブルクリックし、「色定義」フォルダをダブルクリック

③  (3D 色定義ツール) をダブルクリック

＊ 色定義ツールの画面が表示されます。

＊ 物件を起動し、 (3D パース) の部材色変更から「色編集」をクリックし、「色定義ツール」を起動してもかまいません。

④ 分類を「オリジナル」に変更し、色(模様)名が変わったことを確認後、「編集」をクリック

＊ 分類を「オリジナル」に変更すると、オリジナル内の色(模様)名に切り替わります。

＊ 色(模様)名はアルファベット→カタカナ／ひらがな→漢字の順に並んでいます。

＊ モード選択画面が表示されます。



⑤ 名称、色、透明、反射、バンプマッピング、テクスチャマッピングを設定

＊ ここでは、以下のように設定します。

・ 名称→「表札_西泉」

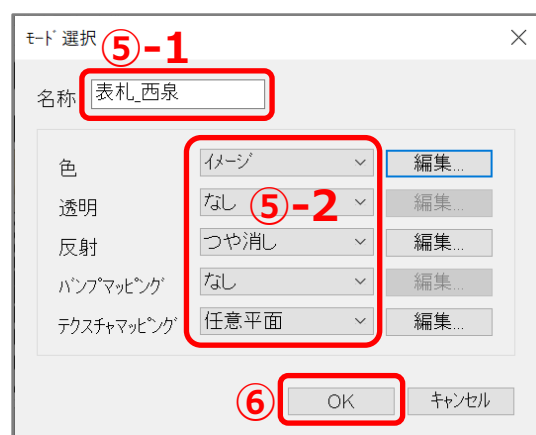
・ 色→「イメージ」に変更後、「編集」をクリックし P.2「画像データの準備」で「TEXTURE」フォルダに保存した「表札」の画像を選択

・ 透明→「なし」

・ 反射→「つや消し」を選択後、「編集」をクリックし環境光と拡散光を「1」に設定

・ バンプマッピング→「なし」

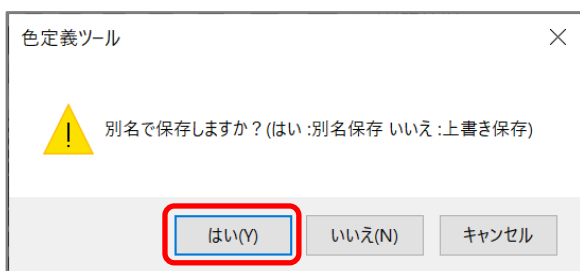
・ テクスチャマッピング→「任意平面」を選択後、「編集」をクリックし幅と高さを「150」mm に設定



⑥ モード選択画面の「OK」をクリック

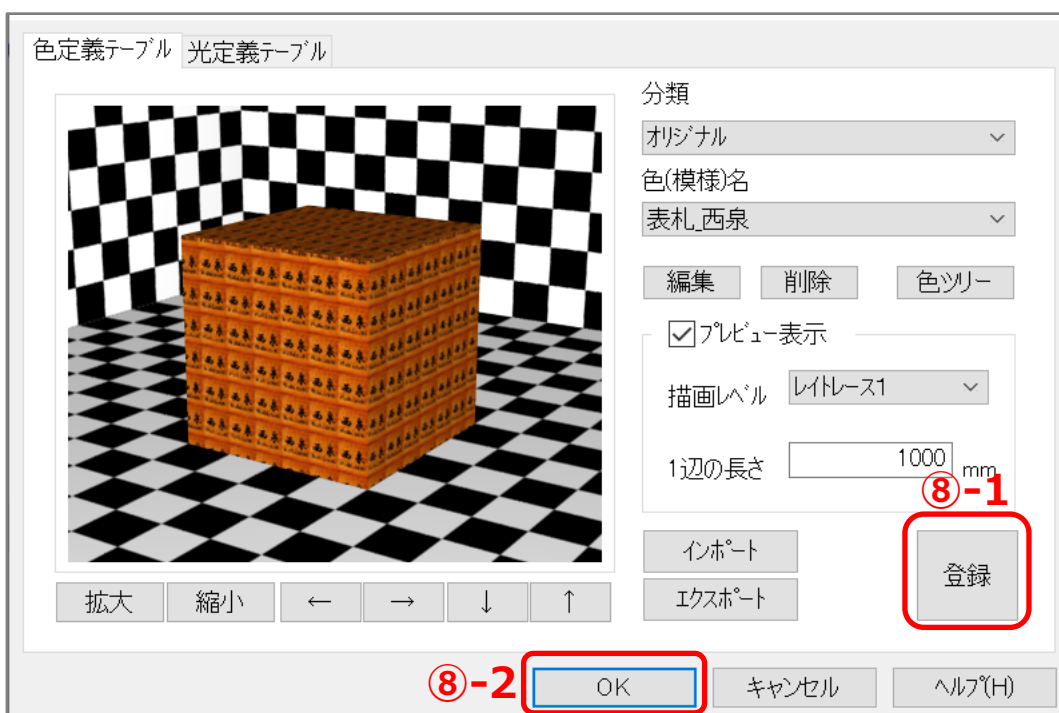
- * メッセージが表示されます。

⑦ 「はい」をクリック



- * 「いいえ」をクリックすると上書き保存になり、元の部材色が消えてしまいます。必ず「はい」をクリックしてください。
- * 色定義ツールの画面に戻ります。

⑧ 「登録」をクリックし、「OK」をクリック



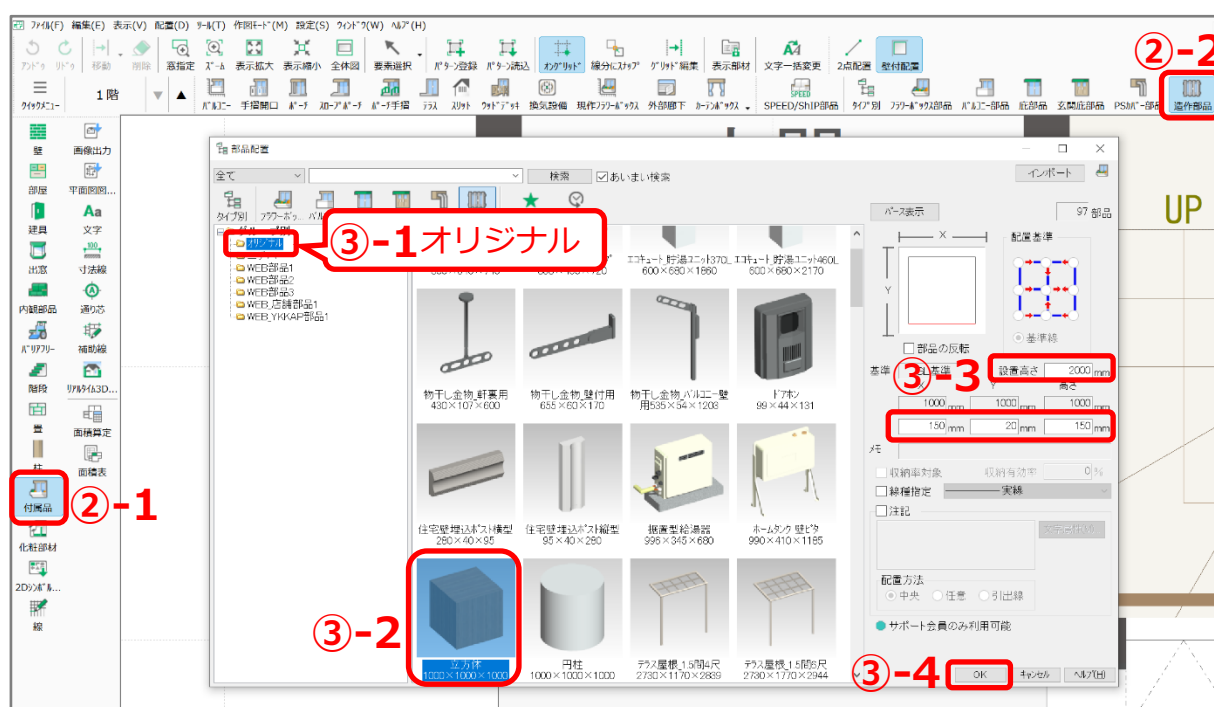
- * ここで「登録」をクリックしないまま色定義ツールを閉じると、追加・編集した内容が正しく保存されません。必ず「登録」をクリックしてください。

【注意】

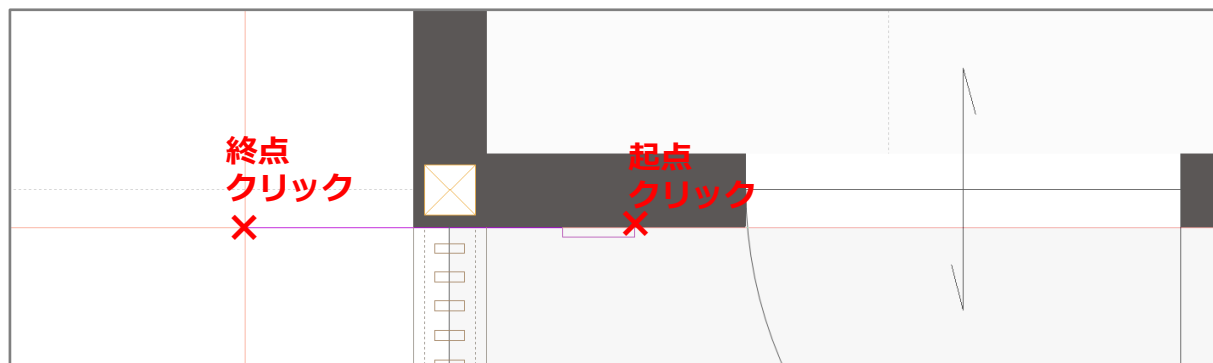
使用した画像データは、P.3 操作⑤で指定した参照先から移動、削除しないでください。
指定した参照先に画像データがないと、3D パースで部材色が表示されなくなります。

● プラン図での操作

- ① 表札を配置する物件データを起動し、 (プラン図)を開く
- ② (付属品)の (造作部品)をクリック
 - * 部品配置の画面が表示されます。
- ③ 「オリジナル」グループの「立方体」をクリックし、X、Y、高さ、設置高さを変更して「OK」をクリック
 - * ここでは、表札のサイズにあわせ、X「150」mm、Y「20」mm、高さ「150」mm、設置高さ「2000」mm に設定します。




- ④ 入力モードが (壁付配置)になっていることを確認し、配置したい位置で起点—終点をクリック



- * 立方体が壁に埋まらないよう、配置方向に注意してください。

● 3D パースでの操作

① ≡ (クイックメニュー)またはメインメニューより  (3D パース)を起動

② 右クリックメニューの「選択モード変更」から「面」を選択

* 要素選択した際の選択範囲が変わります。

ここでは、P.5「プラン図での操作」で配置した立方体の表面のみを選択するため、選択モードを「面」に設定します。

③ P.5「プラン図での操作」で配置した立方体を選択後、右クリック

④ 右クリックメニューの「最適化解除」をクリック

* 「最適化」されているとグループ化の影響で作業に制限がかかるため、解除します。



⑤ 再度立方体の表面を選択後、右クリック

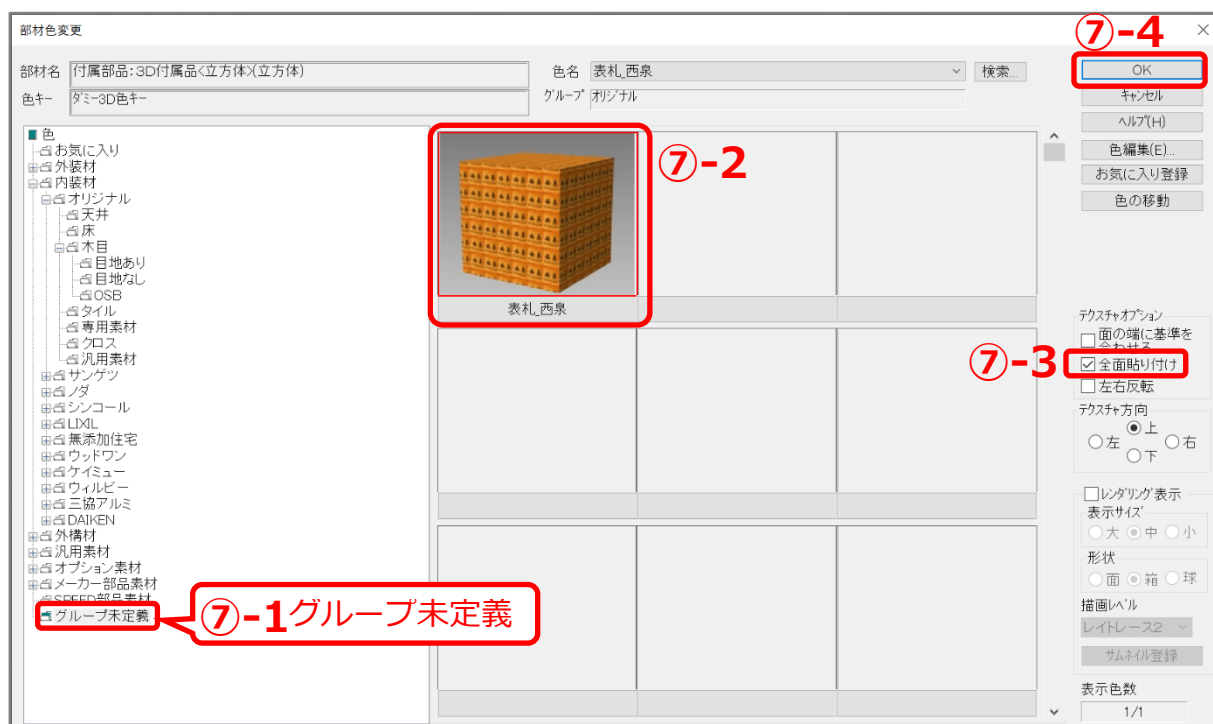
* 表札の画像を貼り付ける面をクリックします。

⑥ 右クリックメニューから「部材色変更」をクリック



* 部材色変更の画面が表示されます。

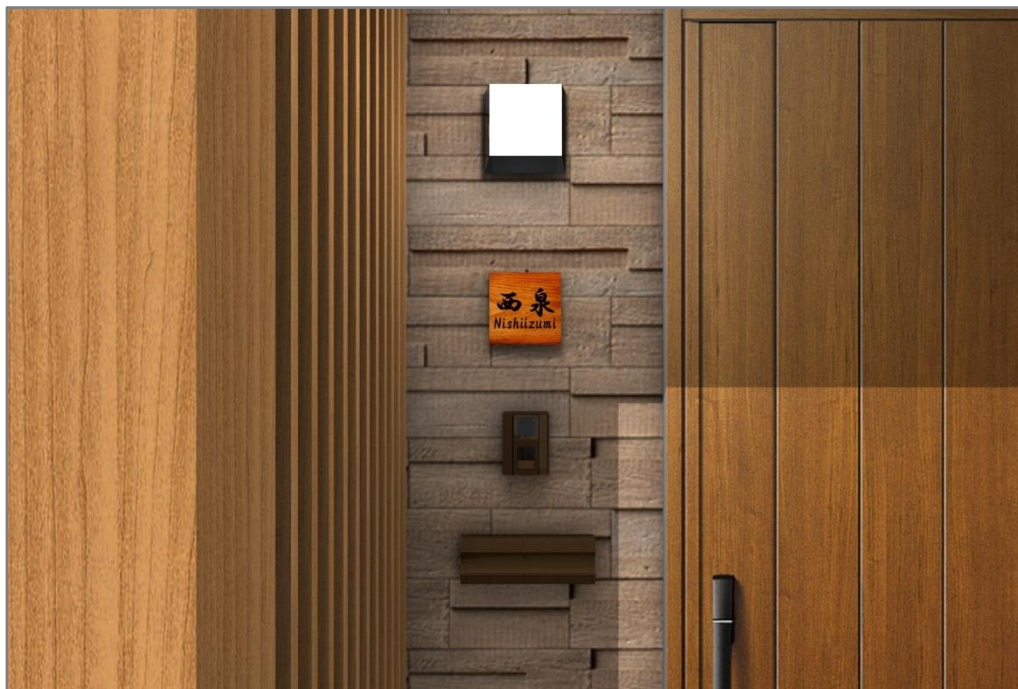
⑦ 「グループ未定義」から「表札_西泉」を選択し、テクスチャオプションの「全面貼り付け」にチェックを入れて「OK」をクリック







* 「全面貼り付け」にチェックを付けると、選択した面全体に画像を引き延ばして貼り付けることができます。

* P.3「画像データの登録」で分類を「オリジナル」に設定し登録すると、「グループ未定義」に追加されます。

⑧ レンダリングを行い確認



- * ここでは、 (内観部品)⇒ (照明)⇒オリジナル⇒ポーチライト A
 (付属品)⇒ (造作)⇒オリジナル⇒住宅壁埋込ポスト横型、ドアフォンを表札と共に配置しています。

【参考】

表札や看板の側面が見える場合は、側面を表札や看板の色に近いものに变更してください。

